



(告知文案)

SDGs 時代の企業経営

国連大学サステナビリティ高等研究所は、持続可能な開発ソリューション・ネットワーク・ジャパン (SDSN Japan) との共催により、国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムは、SDGs の達成に向け、グローバル企業の今後のあり方に焦点をあてて議論することを目的としています。

欧米をはじめとした昨今の社会的情勢の大きな変化を踏まえ、従来の資本主義のあり方への見直しが求められる中、社会の安定に企業が果たす役割はますます大きくなっています。このような時代における新しい企業経営の形について、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs) が指し示す社会のあるべき姿に照らして考えます。

[背景]

SDGs は、2015 年 9 月「国連持続可能な開発サミット」において、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中核として採択されました。「2030 アジェンダ」は、「誰も置き去りにしない」ことを掲げ、国際社会が 2030 年までに達成すべき 17 の具体的な目標を掲げています。

日本政府は 2016 年 5 月に「SDGs 推進本部」(本部長：内閣総理大臣)を設置し、その後様々なステークホルダーの代表者などから構成される SDGs 円卓会議における議論をも踏まえ、同年 12 月「SDGs 実施指針」を策定、公表しました。

今後、企業をはじめとする様々なステークホルダーにおいては、こうした国内外の動向にも呼応し、SDGs 達成の主流化に向けた取組が加速することが求められています。

本イベントは、UNU-IAS の「SDG ダイアログ・シリーズ」の一環として開催されます。

[参加登録]

本イベントは、日本語と英語による同時通訳があります。

参加は無料ですが、事前の登録が必要です。参加のご登録は、左上のご登録ボタンからお願いいたします (2017 年 4 月 14 日午後 5 時まで)。

[開催概要]

日 時：2017 年 4 月 20 日 (木) 13:00-17:00 (開場 12:30)

会 場：国連大学ウ・タント国際会議場

(東京都渋谷区神宮前 5-53-70)

主 催：SDSN Japan

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

後 援：日本経済新聞社(依頼中)、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン、CDP

[プログラム案] (敬称略)

13:00-13:05	開会挨拶	浜中裕徳 (SDSN Japan 議長、地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長)
13:05-15:00	基調講演	沖大幹 (国連大学上級副学長、東京大学教授) 有馬利男 (グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表 理事、富士ゼロックス株式会社イグゼクティブ・アドバイザー) フルヴィオ・グアルネリ (ユニリーバ・ジャパン・カスタマー・マーケ ティング株式会社プレジデント&CEO)
15:00-15:20	休憩	
15:20-16:50	パネルディスカッション	モデレーター：滝順一 (日本経済新聞社編集委員) パネリスト： ● 饗場崇夫 (トヨタ自動車株式会社環境部担当部長) ● 日系企業 (tbc) ● 高橋則広 (年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) 理事 長) ● 森澤充世 (CDP 事務局ジャパンディレクター) ● 蟹江憲史 (UNU-IAS シニアリサーチフェロー、慶応大学教授)
16:50-17:00	閉会挨拶	竹本和彦 (SDSN Japan 事務局長、UNU-IAS 所長)